

【記入例】

個別の教育支援計画（3，4，5歳児用）

*****一部省略の意味

平成●●年 ●月 ●日策定 教育・保育施設（園）名 ○○○園 連絡先 043-△△△-△△△△

平成 年度：3歳児		平成 年度：4歳児		平成 年度：5歳児	
施設（園）長名：●●●●		施設（園）長名：●●●●		施設（園）長名：●●●●	
担当者名：○○○		担当者名：○○○		担当者名：○○○	
ふりがな 氏名	ようご せんた	男	生年月日	平成○○年○月○日	
	養護 船太	女	入園（所）年月	平成●年4月	
ふりがな 保護者氏名	ようご きょうこ	続柄	住所	千葉県○○区○○○	
	養護 教子	(母)	連絡先	TEL 043-○○○-○○○○	
集団での子どもの姿					
	本児が困っていること	興味・関心のあること	身体の状況	手帳・検査	
3歳児	・自分の気持ちを相手に伝えられない ・困ると泣いてしまう	・気の合う子（1人）と一緒にいること ・無視・小動物・電車	・欠席も少なく健康である		
4歳児	*****	*****	本人の気持ちを、保育者が代弁しても可 気持ちの変化があれば追記する		
5歳児	・思いどりにいかないことに執着し、切り替えが難しい	・あやとり・折り紙（手先がとても器用）・電車がすき			
今後（就学まで）の希望					
本人	・泣かないで気持ちを伝えられるようになりたい（27年度） ・お友達と電車ごっこがしたい。いろいろなものを作ってみたい。（29年度）				
保護者	・友達と一緒に楽しく過ごしてほしい。自分の気持ちを言葉で伝えられるようになってほしい（27年度） ・気分がむらがあるので、集団生活での過ごし方やお友達とのかかわり方などを身に付けてほしい（29年度）				
	具体的な目標			必要と思われる内容	
具体的な支援	教育・保育施設	27年度	・自分の気持ちや思いを言葉で伝えられるようになる	・保育者が本児の気持ちを酌み取り言葉として本児にも相手にも伝えていく。	
		28年度	*****	*****	
		29年度	・「自分でできた！」という経験を増やす。 ・見通しをもち、わかって行動できるようになる。	・本児が自ら気付き取り組みやすい環境を整える。 ・絵（文字も合わせて）を提示し、視覚的に情報を伝えた上で、言葉での説明も加えていく。	
	保護者	27年度	*****	*****	
		28年度	*****	*****	
		29年度	・やりたいことはいつも出来ることではない、ということがわかる。	・事前にこれからの予定や、予想される事を伝える。	

【記入例】

	医療機関	年月日	支援内容
具体的な支援	相談・療育機関		各機関との連携の中で共有した内容や保護者から聞いた内容を記録
年度末のこどもの姿と願い	27年度	一緒にいたいと思う友達はあるが、遊びは並行遊びが続いている。少しずつ気持ちを言葉でも伝える姿が増え、泣き叫ぶことが減ってきている。 大きな集団は苦手なで離れて見ていることも多いが、まず、好きな友達とやり取りをしながら遊べるようになってほしい。その関係を足がかりに、本児が安心して過ごす仲間が増えてほしい。	願いは次年度への課題を具体的に記入する 記入時期は1月～2月頃 ただし、退園等の際はその時点での姿を記入する
	28年度	*****	
	29年度	友達との関係で思いが通らない場面に出会うと、保育者にどのように自分の気持ちを整理したらいいのか、さらにどう対応したらいいのか助けを求めてくるようになった。相手や状況に合わせるのは難しそうであったが、自分で対応していきたいという意欲が伝わってくるようになった。 相手の気持ちや考えも聞き、受入れながら、自分の気持ちも伝えられたという経験が増え、自信を持てるようになってほしい。	
新しいステージ（転園・転所や就学等）でのより良い連携のために伝えたいこと			
本人	小学校で勉強することをとても楽しみにしています。		
保護者	戸惑っていると感じたときには、行動のヒントになることを伝えてほしいです。気持ちの切替に時間がかかるので、次の予定を事前に伝えておくことで比較的スムーズにいきます。		
保育者	本児にわかりやすく、今やるべき事を示したり、気がつけるように言葉掛けしたりすることで行動がスムーズになります。モデルがあると行動しやすいようです。		

【個人情報の取り扱いについて】

- 1 関係者以外が閲覧できないようファイル管理を厳正に行う。
- 2 本計画を策定した機関が、別の機関に本計画を提示する場合は、事前に必ず保護者の了解を得る。
- 3 2において本計画の提示を受けた機関は、その情報を提示目的以外に使用してはならない。

※ 本計画の内容に同意し、転所・転園や就学先等に情報共有することを承諾します。

年度	年度	年度	年度
保護者署名			

【記入例】

具体的な支援に関する特記事項	
年月日	内容
27.5.10	・使っていたおもちゃを友だちに「貸して」と言われ、困って号泣していた。保育者が本児の気持ちを汲み取り「まだ使いたいんだよね。」「お友達に『もう少し待って』って試してみようか。」と話しかけていくうちに落ち着いてきた。言葉で伝えることはできない。
27.5.19	・気の合う友達 A とブランコに乗っているとき、他の友達から「ブランコ貸して」と言われ、A が「だめよ」と言っているのを聞いて一緒に「だめよ」と言っていた。友達を介して“貸したくない”という気持ちを「だめよ」という言葉で伝えることができた。(保育者は 10 数えたら代わるということを知らせていった)
27.12	・保護者との面談のなかで「うちの子はいつも一人で遊んでいる様子が見られる」「A 君とは一緒にいることが多いが、他の友達とかかわっている姿が見られない」「集団のなかで過ごすことが苦手なのか気になる」と言う話があった。実際にクラスを離れ二人だけで遊んでいることが多いが、まだ並行遊び的な姿が多い。自分の意が通らないとき奇声をあげること、A 君との間では言葉でのやり取りが少しずつ出てきていることを伝えた。家庭で奇声をあげることはないとのこと。
*****	*****
29.2	・家庭でも会話は増えてきているが自分の思いが通じないとイライラしたり奇声を上げたりすることが見られるようになったとのこと。家庭でも園でも本児の思いを汲み取り、言葉にして伝え合うようにしていくことを共有した。また、本児の困り感を少なくするために専門機関との連携をすすめた。
29.6	千葉県療育センターでの検査 全検査 IQ 83 言語理解 82 知覚推理 104 ワーキングメモリー 68 処理速度 88 <所見>全体的な知的発達には「低い(境界域)」から「平均の下」の水準と考えられる。ただし本 偏りがみられる

ケース会議、心理検査結果、教育・保育施設が行った好事例や支援・配慮内容等を記入

卒園や退園等で保護者に渡す際は、原本証明をし、原本を教育・保育施設で保管し、写しを配布する。

【例】

この写しは、原本と相違ないことを証明します。

平成〇〇年〇月〇日

教育・保育施設名 〇〇園

園長・施設長名 〇〇 〇〇